

令和7年度 第1回我孫子市小中一貫教育推進委員会 議事録

開催日時：令和7年8月1日（金）15時～16時30分

開催場所：我孫子市教育委員会 大会議室

出席者：我孫子市教育委員会教育長 丸 智彦

我孫子市教育委員会教育総務部長 佐藤 和文

我孫子市小中一貫教育推進委員9名 内海崎 貴子、山本 幸恵、深山 君江、

金児 美佐保、鈴木 沢子、鈴木 伸樹、蒲野 毅、今井涼、阿部 政人

我孫子市教育委員会小中一貫教育推進室長及び推進室事務局4名

傍聴人：1名

1 委嘱状

新規委嘱者	第1号委員	白百合女子大学副学長	内海崎 貴子
	第1号委員	我孫子東高等学校教諭	山本 幸恵
	第2号委員	湖北保育園主任	深山 君江
	第3号委員	我孫子中学校 PTA 会長	吉川 直樹
	第3号委員	湖北台東小学校 PTA 会長	金児 美佐保
	第4号委員	白山中学校学校運営協議会委員	田中 玲子
	第4号委員	我孫子第三小学校学校運営協議会委員	鈴木 沢子
	第5号委員	布佐中学校長	鈴木 伸樹
	第5号委員	根戸小学校長	蒲野 毅
	第6号委員	湖北台中学校教頭	森政 俊光
	第7号委員	我孫子中学校教務主任	今井 涼
	第7号委員	子ども支援課次長兼課長	阿部 政人

2 丸 智彦 教育長 挨拶

先日、全国の小学生は、勉強の時間よりもスマートフォンをさわっている時間が長いとの報道がされていました。そしてそれは、保護者の使用時間が長いと、子供の使用時間も多くなると、文部科学省が発表しました。保護者が使用していると、子供に注意しにくいものです。

我孫子市は小中一貫教育とコミュニティ・スクール（以下CS）を一体的に推進しています。小中一貫教育は中1ギャップによる不登校や小中の壁の解消、教職員の交流を目的に行われるようになりました。CSは家庭教育力向上のため、地域から学ぶことを目的に始めました。目的を意識した実践を教職員へ伝えたいと思います。また、それによる学力向上も指導していきたいと思います。より一層の小中一貫教育の協力をお願いいたします。

3 委員長 選出

委員長：内海崎副学長 副委員長：今井教諭

4 自己紹介

略

5 議事

(1) 我孫子市の小中一貫教育について

【事務局より説明】

(資料に基づき以下について説明)

○小中一貫教育が目指す3つの子ども像

「ふるさと我孫子を愛し、誇りに思う子ども」

「確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども」

「自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども」

○3つのつなぐ

「環境でつなぐ」「学習でつなぐ」「人でつなぐ」の3つの「つなぐ」

○中学校区ごとの取組

・グランドデザインの承認・評価・改善

・小中・小小交流活動

・小中一貫の日

・学校評価

・小中一貫カリキュラム

(2) 小中一貫教育とコミュニティ・スクール(以下CS)の一体的推進について

【事務局より説明】

(資料に基づき以下について説明)

○小中一貫教育における学校・家庭・地域との連携、協働の意義

○CSとの一体的推進

【質疑応答】

・オリジナルカリキュラムはどの様なプロセスで決められたのですか。(委員長)

►布佐地区が先行して「布佐カリキュラム」を編成していました。令和6年度から、全ての地区で、地域の実態に沿ったものができたらという思いではじめました。(事務局)

・「命でつなぐ我孫子カリキュラム」の具体的な活動はどの様なものでしょうか。(委員長)

►後の資料で詳しく説明させていただきます。(事務局)

・小中一貫教育とCSの一体的な推進について、どのような進展が見られましたか。(委員長)

►地域・町づくり協議会・社会福祉協議会・行政などが加わって学校のことを話し合い、協働しています。(事務局)

・子供も参加していますか。(委員)

►全てではないですが、いくつかの学校で生徒会の子が入っています。(事務局)

(3) 小中一貫教育に関する令和6年度の学校評価の結果について

【事務局より説明】

(資料に基づき以下について説明)

○令和4年度からの3年間の結果の数値と考察

(4) 令和7年度の我孫子市小中一貫教育の重点について

【事務局より説明】

(資料に基づき以下について説明)

○各中学校区の特色あるオリジナルカリキュラムの編成

- ・オリジナルカリキュラムの実施と検証が重点
- ・小中一貫だより「繋～TSUNAGU～」の実践記事

【質疑応答】

・学校評価の結果について、教職員の認知がずっと横ばいなのはなぜですか。(委員長)

→学習指導要領が系統立てて作られているので、「小中一貫」を意識しなくとも、進められているところがあります。しかし、今年度からは中学校区のオリジナルカリキュラムを実施していくので、意識が変わってくるのではないかと思われます。(指導課長)

→自分の中学校区のオリジナルカリキュラムを全教員で見直し、意見を出し合う研修、他中学校区のオリジナルカリキュラムを見て意見を出し合う研修をオンラインで実施中です。(事務局)

・例えば台中区は、この表だけ見て意見を書き込むのは難しいのではないでしょうか。他校の先生が見に行くなどしないと、実際にわからんないと思います。(委員)

・内容は違っても、形式を一定程度作ったほうがどの人が見てもわかります。そうすることで、意見の書き込みもしやすくなるのではないかでしょうか。(委員長)

・なんでも初めての人に分かる資料を作ることが大切だと思います。(委員)

→「初めての人に」という視点は大切ですので、活かしていきたいと思います。(事務局)

・学校評価の教職員と保護者の数値の差はどの程度でしょうか。また、なぜ差が生まれるのでしょうか。(委員長)

→年によって違いはありますが、多くの学校で10%以上差が出ることがあります。理由については、各学校で考える手立てを考えていかないといけないと思っています。(事務局)

・繋の記事で紹介はされませんでしたが、東小は良い取組をしています。西小と小小連携ができたらいいと話しているところです。東小と西小でICTの発表の場を作ろうという話も出ています。(委員)

→実際に授業の様子を参観してきました。地域の方の意識の高さに驚きました。(指導課長)

・体験活動の前と後で、知識や理解の深まりがあったかなど、子供たちの理解度を図るものはありますか。(委員)

→新聞やレポートなどにまとめる活動はしています。授業のねらいと、小中一貫の意識、両方を大切にした授業づくりが必要です。(指導課長)

・西小の「いのち・こころ・からだの学習」の展望はどのようにになっているのでしょうか。(委員長)

→「いのち・こころ・からだの学習」は養護教諭部会で作成しています。後ほど、資料をお渡します。(事務局)

・学校現場の様子では、「小中一貫の日」のようであれば、自然と意識します。ですが、そうではないと「あの活動が小中一貫教育だったの?」となる先生もいます。「小中一貫の意識」のように目に見えないものの難しさがあります。いつ花を開くかわからないけど、続けていくことが大切だと思っています。我孫子中学校区では安全教育、久寺家中学校区では福祉教育ですが、変容を見取りながら推進していきます。(委員)

6 その他・連絡

【事務局より】

○小中一貫教育に関する参観・評価について

- ・実際に小中一貫教育に関する実践を見ていただき、第2回の会議では今年度の我孫子市的小中一貫教育について評価をお願いします。
 - ・2学期以降、授業参観日をいくつか設定し、後日御案内しますので、参観をお願いします。そのほか、日々の教育活動の中で、我孫子市小中一貫教育について見つめていただき、あわせて評価をお願いします。
- 第2回我孫子市小中一貫教育推進委員会について
- ・第2回は令和8年2月10日(火)、15時から会場は我孫子市教育委員会で行います。